

観光客の受入環境整備に係る対応策及び役割分担（案）

1 府域における交通アクセス等の容易化・円滑化

受入環境整備の内容	旅行者・受入側・委員の意見	現状
① 搭乗・入国手続きの時間短縮	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出入国手続きに時間がかかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際線チェックインシステムの統一・共用化、出入国審査場自動化ゲートの増設等（関空）</li> </ul>
② 観光スポットをめぐるバスの運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通機関が複雑で乗り換えが難しい。</li> <li>● 簡単・手軽に複数の観光施設を巡りたい。</li> <li>● 大阪には東京のはとバスのような定期観光バスがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車中見学のためのオープンデッキバスの運行(H26.7～、大阪市内)</li> </ul> <p>※大阪市営定期観光バスは H20.3 に廃止</p>
③ 交通機関における利便性の向上（利用方法、利用料金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1枚の鉄道パスで全鉄道を利用できないので不便</li> <li>● 深夜に関空に到着しても早朝まで交通機関が運行していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道の周遊パスがJR系と大阪市営地下鉄・私鉄系の2種類あり、相互利用できない。</li> <li>● 深夜2～3時台の関空発のリムジンバスの運行なし(H27.5現在)</li> </ul>
④ バリアフリー化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 街なか、宿泊施設、観光スポットへのアクセスにおけるバリアフリーの対応が不十分</li> <li>● バリアフリーの情報が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業者等が順次整備</li> </ul>



対応策	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> <li>● CIQ担当職員の増員</li> <li>● 国際線保安検査場ブース増設、ファーストレーン設置等（関空：順次整備中）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政、民間</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光スポットをめぐる定期観光バスやループバスの運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政、民間</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関西統一交通パスの創設[関経連を中心に検討中]</li> <li>● 関空発のリムジンバスの深夜・早朝時間帯への運行拡大(H27.7～、リムジンバスの24時間対応)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 民間</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● バリアフリー対策の推進</li> <li>● 整備状況の情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政、民間</li> </ul>

大阪府の役割
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 国への要望等</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 事業者への働きかけ等</li> <li>◇ 定期観光バス等の運行への支援</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 事業者への働きかけ等</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 事業者への働きかけ等</li> <li>◆ HP等による情報発信</li> </ul>

【参考】他府県での取り組み事例
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 堺市 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光周遊バス助成制度</li> <li>・ループバス運行</li> </ul> </li> <li>● 山口県防府市 <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期観光バス運行事業補助金</li> <li>・観光バスツアー支援事業補助金</li> </ul> </li> </ul>

## 2 観光客受入のための基盤整備

受入環境整備の内容	旅行者・受入側・委員の意見	現状	対応策	実施主体	大阪府の役割	【参考】他府県での取組み事例
① 多言語対応の強化 ・交通機関における案内サイン・アナウンスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 駅構内・周辺での多言語標記が少ない</li> <li>● 電車の乗換表示がわかりにくく、複雑</li> <li>● 多言語対応ができるスタッフを配置してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多言語による案内サイン・アナウンスの整備が主要駅、主要電車中心となっている。</li> <li>● 多言語対応できるスタッフも不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多言語案内表示のガイドラインの策定</li> <li>● 駅等における多言語案内サイン・アナウンスの整備・充実</li> </ul>	● 行政、民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 多言語案内表示に係るガイドラインの策定</li> <li>◆ 事業者への働きかけ等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京都：国内外旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針</li> <li>● 京都市：24時間多言語コールセンター事業（宿泊施設・交通機関）</li> </ul>
・観光ガイドブックの作成・配布	● 多言語対応が不十分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【大阪観光局】大阪の観光ガイドブックを5言語（日・英・韓・中繁・中簡）で作成・配付（26年度：50万部発行）</li> <li>● 府内各地域の観光ガイドブックの多言語化（泉州地域【英、中、韓】等）</li> </ul>	● 多言語対応の促進	● 行政、大阪観光局、民間等、ガイドブックの作成主体	◇ 多言語ガイドブックの充実	● 東京都：8言語対応
・ホームページ等での情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多言語対応が不十分</li> <li>● 英語等でのイベント情報が少なく、情報の掲載時期が遅い。</li> <li>● 観光客目線での発信が不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【大阪観光局】ホームページによる6言語（日・英・韓・中繁・中簡・タイ）での情報発信</li> <li>● 行政主催イベントは予算・契約手続き等の関係で早期の情報提供が困難なケースが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多言語対応の促進</li> <li>● 掲載情報の充実</li> <li>● わかりやすい、ターゲット、ニーズに応じた発信の工夫</li> </ul>	● 行政、大阪観光局、民間等、HPの運営主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ HPでの多言語対応の方針策定</li> <li>◆ 多言語による掲載情報の充実</li> <li>◆ 発信方法の工夫</li> </ul>	
② 観光客が気軽に欲しい情報通信にかかる環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 無料Wi-Fiの利用環境が不十分</li> <li>● 利用手続きが面倒、利用手続きがまちまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【大阪観光局】Osaka Free Wi-Fiの整備（府内アクセスポイント：2,709箇所【H27.3月末時点】）</li> <li>● 地方自治体、事業者による整備が拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 無料Wi-Fiの利用環境整備の拡大</li> <li>● 利用手続きの簡素化・一元化</li> </ul>	● 行政、大阪観光局、民間等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 無料Wi-Fiの利用環境整備の拡大に向けた支援</li> <li>◆ 利用手続きの簡素化、一元化に向けた検討</li> </ul>	● 30都府県で無料Wi-Fi整備、支援を実施（H27.1現在）
③ 観光案内機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光案内所が少ない</li> <li>● 年齢層、ニーズに応じた案内をしてほしい</li> <li>● 英語表記が少ない。表示があってもわかりにくい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● JNTO認定外国人観光案内所 ・大阪府内 16箇所（全国8位【H26.3現在】）</li> <li>● 民間による店舗併設型観光案内所の増加（旅行者等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光案内所の新設や機能の強化（多言語対応、他地域の案内所との連携等）</li> <li>● 観光案内板の整備観光・通訳</li> <li>● 観光ボランティアガイドの育成、活動の場の拡大</li> </ul>	● 行政、大阪観光局、民間等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 観光案内所の拡充・機能強化支援</li> <li>◇ 観光案内板の整備支援</li> <li>◇ 観光・通訳ボランティアガイドのスキルアップ・活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 兵庫県：外客受入基盤整備補助（観光案内所、案内板等）</li> <li>● 観光案内板整備補助制度（愛知県、山梨県、高知県、大分県等）</li> </ul>
④ おもてなしの向上・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主要駅や商業施設、ホテルでの外国語対応が不十分</li> <li>● 通訳案内士、ボランティアガイド等が不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通訳案内士、特区ガイド（泉佐野市）の活用</li> <li>● ボランティアガイドの活用</li> <li>● 外国語対応スタッフの配置</li> <li>● スマートフォン等における翻訳ソフトでの対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多言語対応のできる人材の配置・人材育成</li> <li>● 観光・通訳ボランティアガイドの育成、活用</li> <li>● ICTの活用</li> </ul>	● 行政、民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 観光・通訳ボランティアガイドのスキルアップ・活動支援</li> <li>◇ ICTを活用したおもてなし対応支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京都：街なかでの外国語による観光案内（H27～予定）</li> <li>● 京都市：24時間多言語コールセンター（電話通訳）事業（宿泊施設・交通機関）</li> </ul>

## 2-2 観光客受入のための基盤整備

受入環境整備の内容	旅行者・受入側・委員の意見	現状	対応策	実施主体	大阪府の役割	【参考】他府県での取組み事例
⑤ 国際標準サービスの提供 ・ショッピングにおける利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 商業施設の営業終了時間が早い</li> <li>● 多言語対応ができるスタッフを配置してほしい。</li> <li>● 免税店を増やしてほしい。</li> <li>● 免税手続きの利便性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 店舗における多言語対応等（多言語HP、外国語対応スタッフの配置等）</li> <li>● 消費税免税対象品目の拡大（全品目が免税対象）[H26.10]</li> <li>● 免税店の地方への拡大（地方運輸局に相談窓口設置等）</li> <li>● 免税手続きの簡素化（一括カウンターの設置可能に）[H27.4]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 商業施設の営業時間の延長</li> <li>● 商業施設における多言語対応スタッフの配置・拡充</li> <li>● 免税店の府域全体への拡大</li> </ul>	● 行政、民間	◆ 営業時間延長や免税店の拡大に向けた業界団体への働きかけ等	
・飲食店における利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● HP やメニューなどの多言語対応が遅れている。</li> <li>● メニューに写真を入れてほしい。</li> <li>● 来日前に事前予約できるシステムを整備してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 飲食店における多言語対応等（多言語HP、食品模型、写真入りメニュー・案内板、外国語対応スタッフの配置等）</li> <li>● 外国人向けネット予約システムの導入（民間事業者導入済み）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 飲食店における多言語対応の拡充</li> </ul>	● 行政、民間	◇ 飲食店における多言語対応の支援 ◆ 業界団体への働きかけ等	● 東京都：都内飲食店向け多言語メニュー作成支援システム
・トイレの整備（ユニバーサルデザイン化）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公衆トイレが少ない。</li> <li>● トイレが狭い。</li> <li>● 洋式トイレが少ない。</li> <li>● 公園のトイレが汚い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市営地下鉄において各駅1か所以上のトイレを順次リニューアル中（H27年度末までに今里筋線を除く地下鉄112駅）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光地等のトイレ美化</li> <li>● 国際標準のトイレ整備（ユニバーサルデザイン化）</li> </ul>	● 行政、民間	◇ 観光地トイレの美化支援等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光公衆トイレ整備補助（和歌山県、千葉県、佐賀県等）</li> <li>● 京都市：観光トイレの指定（民間のトイレ提供協力者に水道代等を補助）</li> </ul>
⑥ 両替、クレジットカード・ATMの利用改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外発行のクレジットカードでキャッシングできるATMが少ない</li> <li>● 両替所が少ない。両替所の情報が必要</li> <li>● クレジットカードが利用できない施設が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外発行クレジットカードでキャッシング可能なATMが限定（ゆうちょ銀行、セブン銀行、シティバンク、イオン銀行のみ）</li> <li>● メガバンク3行（みずほ、三菱東京UFJ、三井住友）においても、順次海外発行クレジットカード対応ATMの設置予定</li> <li>● 経済産業省・観光庁が外国人向けサービス（海外発行クレジットカード等に対応可能なATM設置等）実施のコンビニの認証制度導入を検討中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外発行クレジットカード利用可能ATMの設置拡大</li> <li>● 両替所の拡大</li> <li>● クレジットカード決済可能店舗の拡大</li> </ul>	● 民間	◆ 海外発行クレジットカード対応ATM、両替所の情報の発信	

## 2-3 観光客受入のための基盤整備

受入環境整備の内容	旅行者・受入側・委員の意見	現状	対応策	実施主体	大阪府の役割	【参考】他府県での取り組み事例
⑦ 宿泊施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大型団体の受入施設不足</li> <li>● 大阪市内の宿泊施設の予約が取りづらく、価格も上昇</li> <li>● 客室の質（狭さ等）、従業員の多言語対応が不十分</li> <li>● 民家等の活用</li> <li>● ホテルの誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内外からの観光客急増によりホテルの客室不足が深刻化（客室稼働率 85%超）</li> <li>● ホテルの新設は限定的</li> <li>● 旅館の稼働率は約 40%の状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宿泊施設の受入能力拡充</li> <li>● 旅館等での観光客の受入促進</li> <li>● 多言語スタッフの配置</li> </ul>	● 行政、民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 宿泊施設の受入拡充のための支援方策の検討</li> <li>◆ 旅館等への観光客の受入協力の働きかけ</li> <li>◆ 国家戦略特区による外国人滞在施設（旅館業法適用除外）について、26年9月議会の議論を踏まえ、安全面、住民対応等の法的措置強化等の国への要望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 奈良県：宿泊施設の誘致（低利融資、県税軽減等）</li> <li>● 東京都：宿泊施設バリアフリー化助成金</li> <li>● 大阪市：西成区簡易宿泊所設備改善助成（H27）</li> </ul>
⑧ 駐車場の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光バス駐車場が不足</li> <li>● 観光バスの増加に伴う交通渋滞の発生</li> <li>● 地下駐車場の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光バス用駐車場の整備（大阪城公園、50台）</li> <li>● 観光バス乗降場所の設置（堺筋の日本橋周辺路上、5台）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光バス駐車場確保対策の検討</li> </ul>	● 行政、民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 大阪市、警察等と連携した観光バス駐車場確保のための支援方策の検討</li> </ul>	

## 3 文化・生活習慣に配慮した対応

受入環境整備の内容	旅行者・受入側・委員の意見	現状	対応策	実施主体	大阪府の役割	【参考】他府県での取り組み事例
① ムスリム旅行者をはじめとした対応の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハラルレストランの増加</li> <li>● ハラルレストランリストのウェブサイト等による入手</li> <li>● 宗教、ベジタリアン、アレルギー等の理由による食事制限への対応が不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【大阪観光局】ムスリムフレンドリーマップの作成・配付（H26：2万部）</li> <li>● 祈祷室の設置（関空、大阪ステーションシティ、なんばCITY）</li> <li>● 飲食店におけるハラル対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハラル対応等、飲食店における対応の拡充</li> <li>● HP等におけるハラル対応やアレルギー対応等が可能な飲食店等の紹介</li> </ul>	● 行政、民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ハラル対応等についての関係業界・集客施設等への理解促進・働きかけ</li> <li>◆ HP等でのハラル対応やアレルギー対応等が可能な飲食店等の紹介</li> </ul>	
② 文化・生活習慣の違いについての観光客及び受入側の相互理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外国人旅行者に温泉での入浴マナー等を理解してもらうのが困難</li> <li>● 受入側も、海外の文化や生活習慣等の教育を充実させることが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語のできるスタッフの配置や、入浴マナーを解説したポスターの張り出し（温泉旅館施設）</li> <li>● トイレの使用法の解説図の設置（関空等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● HP等における日本での生活習慣、マナー等の解説、周知</li> <li>● 温泉施設等における多言語対応のできるスタッフの配置</li> <li>● マナー違反発見時の適切な対応</li> <li>● 府民のおもてなし意識の向上</li> </ul>	● 行政、民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ HP等での日本の文化・生活習慣の紹介</li> <li>◇ 府民のおもてなし意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福井県：外国人観光客へのおもてなしハンドブック</li> </ul>

#### 4 安心・安全の確保

受入環境整備の内容	旅行者・受入側・委員の意見	現状	対応策	実施主体	大阪府の役割	【参考】他府県での取り組み事例
① 医療機関、災害・事故等に関する情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 病院、薬局等での英語による表記や説明が不足</li> <li>● 多言語による災害情報、対策が不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政 HP による防災関係情報等の多言語発信</li> <li>● 【大阪観光局】Osaka Free Wi-Fi による外国語対応可能病院等の情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多言語による医療機関、避難場所等の防災関係情報の発信</li> </ul>	● 行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ HP 等による多言語対応が可能な病院等の情報発信</li> <li>◆ HP 等による多言語による避難場所等の防災関係情報の発信</li> </ul>	
② 災害発生時の避難誘導対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 台風のことを知らず対応に困った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光客避難誘導対策が不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光客避難誘導対策の検討</li> </ul>	● 行政、民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 観光客避難誘導対策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都市：帰宅困難観光客避難誘導計画</li> </ul>
③ 災害時受入施設の確保（宿泊施設等の耐震補強等）			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 耐震基準を満たす施設の拡充</li> <li>● 災害時、観光客の受入施設の確保</li> </ul>	● 行政、民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 施設の耐震補強への支援</li> <li>◆ 観光客の避難場所確保に向けた事業者等への働きかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京都：宿泊施設耐震診断支援事業</li> <li>● 愛媛県：耐震改修等の補助事業を実施する市町に対する補助</li> </ul>

#### 5 大阪ならではの魅力づくり、大阪への誘客促進

受入環境整備の内容	旅行者・受入側・委員の意見	現状	対応策	実施主体	大阪府の役割	【参考】他府県での取り組み事例
① 既存の魅力資源の整備・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大阪はみるものが少ない</li> <li>● 神社仏閣をもっとPRすべき。</li> <li>● 日本風のまちなみの整備</li> <li>● 外国人好みの商品やサービス開発が必要</li> <li>● 夜のエンターテインメントが少ない</li> <li>● 観光周遊バスがない</li> <li>● まち歩きツアーの充実</li> </ul>	<p>【大阪府の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基金を活用した地域主体のまちの魅力づくりの支援</li> <li>● 水の回廊を中心とした魅力・賑わいづくり（緑化推進、橋梁等ライトアップ、遊歩道整備等）</li> <li>● 大阪・光の饗宴（御堂筋イルミネーション等大阪市内中心部の光のプログラムを一体的に発信）</li> <li>● 石畳と淡い街灯まちづくり（歴史文化資源を活かしたまちづくり支援。府内6地域をモデル整備）</li> <li>● 文化施策の推進（おおさかカンヴァス推進事業等）</li> <li>● 万博記念公園活性化の取組み（「太陽の塔」内部公開に向けた取組み、H27 秋：集客施設開業予定）</li> <li>● 百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録に向けた取組み（目標：H27 国内推薦、H29 登録）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の観光資源の掘り起こし</li> <li>● 大阪ならではの景観整備</li> <li>● 魅力的な観光施設の立地</li> <li>● 夜のエンターテインメントの充実</li> <li>● 魅力的な旅行商品の開発</li> </ul>	● 行政、民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 地域団体や民間等と連携した魅力づくりの支援</li> <li>◇ 大阪ならではの景観の整備</li> <li>◇ 民間と連携した魅力的な旅行商品の開発</li> </ul>	

## 5-2 大阪ならではの魅力づくり、大阪への誘客促進

受入環境整備の内容	旅行者・受入側・委員の意見	現状	対応策	実施主体	大阪府の役割	【参考】他府県での取組み事例
②効果的なイベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マラソン等のイベントへの外国人参加枠の拡大</li> <li>● 英語でのイベント情報が少ない</li> <li>● イベントの認知度が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スポーツイベント(大阪マラソン、ラグビーワールドカップ2019招致事業等)</li> <li>● 大阪の陣400年天下一祭(大阪城公園と府内各地でイベント実施。歴史文化体感周遊事業、府域魅力発信事業等)</li> <li>● 大阪割烹体験イベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インパクトのある名物イベントの開発</li> <li>● イベント等への外国人の参加促進</li> <li>● HP等における多言語でのイベント情報の拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政、民間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ インパクトのある名物イベントの開発</li> <li>◆ 多言語によるHP等での参加の呼びかけ、掲載情報の充実</li> </ul>	
③戦略的なプロモーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大阪だけでなく関西としてのプロモーションも推進すべき</li> <li>● 経済効果の大きいMICE誘致も推進すべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大阪観光局による戦略的な観光集客の推進(海外トラベルミッション、MICE誘致、国内プロモーション等)</li> <li>● 大阪ミュージアム構想の推進(基金を活用したまちの魅力づくり支援、HP・動画等を活用した府内各地の魅力発信等)</li> <li>● 大阪産(もん)のブランディング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広域的観光プロモーションの推進</li> <li>● MICEの戦略的誘致の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政、民間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 他府県との連携等による戦略的な観光プロモーションの推進</li> <li>◇ MICE誘致の推進</li> </ul>	